

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

栃木県

行事名称	嘉右衛門町伝建地区総合防災訓練
実施期間・日時	令和2年1月26日(日)
実施場所	栃木市泉町地内(栃木市泉町2-29地先)ほか
主催者	栃木市役所総合政策部蔵の街課、栃木市消防本部、泉町自主防災会、嘉右衛門町自主防災会、大町自主防災会

■実施内容

訓練の想定

栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区内の店舗より出火炎上し、隣接の住宅に延焼する恐れがあると想定。無線連動型住宅用火災警報器により付近住民が火災発見、119番通報するとともに、伝建地区に設置予定のD級可搬ポンプにて放水することを想定。

訓練の内容

地域住民による火災発見、119番通報、初期消火(D級可搬ポンプ、水消火器)。消防署、消防団による泡消火システム及び水幕ホース等による放水訓練。

参加者及び役割分担

伝建地区住民 (50人) : 119番通報、消火器取扱訓練
消防団 (30人) : 放水訓練
消防本部 (10人) : 放水訓練
市役所 (10人) : 講評

特に工夫した点

伝建地区に設置予定のD級可搬ポンプを使用し、河川から給水し放水するまでを、地域住民とともに訓練を行った。

地域住民に無線連動型住宅用火災警報器の機能説明を行った。

問題点・課題

訓練参加者は高齢者が大多数であるため、若い人の訓練参加を促すための工夫が必要である。
年間複数回の訓練実施が望ましい。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて防災訓練を行うことで、地域住民や地元消防団の文化財保護意識の強化を図り、防災の必要性を確認する機会となっているため、今後も継続して実施していくことが重要である。

訓練風景



放水訓練